

平成24年度 教育行政執行方針

詳細

学校教育総務企画課
TEL (32) 6739

教育委員会では、苫小牧の活力や発展の基盤となる「人づくり」や「生涯学習社会の実現」をめざし、関係部局や関係機関・団体と強く連携し、教育行政を推進します。

「学校教育の充実」

学校教育では、子どもたちが「生きる力」の基本的な資質・能力を身に付けるため「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな身体」をバランスよく育成することが重要です。今年度は次の4点を重点とした施策を推進します。

学びの意欲と確かな学力の向上

子どもたちの確かな学力を向上させるため、本市独自の学力検査、補習学習および道教委の学力向上対策事業など、実態を踏まえた効果的な学力向上策を推進します。教育研究所に防災教育研究委員会を設置し、防災教育を進めます。障がいのある子どもの教育は、弥生中学校の閉校に伴い苫小牧東中学校に移設する肢体不自由学級を含む特別支援学級の開設準備を進めます。また、特別支援教育支援員を増員します。

豊かな心と健やかな身体の育成

学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの健やかな心と身体を育むことが重要です。そのため、「いのちの授業」を実施するとともに、自然体験やボランティア活動などを工夫します。また、学校における体力向上の取り組みや望ましい生活習慣

を身に付けさせる指導を推進します。いじめ・不登校などの問題は、未然防止や早期対応を強化するとともに、スクールソーシャルワーカーや心の教室相談員による支援を推進します。むし歯予防対策として、フッ化物洗口のモデル校を設置します。

教育環境の整備・充実

快適に学べる教育環境を整備することにも、安全で安心な学校づくりを推進することが重要です。そのため、学校施設の耐震化を早急に進めます。また、拓進小学校の建設や弥生中学校の閉校により、学校の適正配置を実施します。4月には、新第一学校給食共同調理場の運用を開始します。蔵書の更新や増加、中央図書館との連携、ボランティアや読み聞かせサークルなどの支援・協力で学校図書館の整備や読書活動の充実を図ります。

信頼され、開かれた学校づくりの推進

子どもたちの健やかな成長には、保護者や地域から信頼され、開かれた学校経営が重要です。そのため、教育研究所の教育研究や研修講座により、教職員の資質や能力の向上を図ります。また、学校評議員の活用・学校評価の充実を図り、保護者、地域などの意見が反映された学校づくりや地域の人材・教育資源を活か

した取り組みを推進します。

「社会教育の充実」

市民一人ひとりがいつでも自由に学習の機会を選択して学び、「心の豊かさ」と「生きがい」を実感できる人生を送るために、社会教育の役割は重要です。今年度は次の5点を重点とした施策を推進します。

生涯学習の推進

生涯学習推進計画に基づく「ひとづくり・まちづくり」を推進するため、各種講座・教室の実施、障がい者へのICT学習支援、「生涯学習だより」など、市民のニーズに応えます。また、新たに「第四次生涯学習推進基本計画」を策定します。

文化芸術の振興

人々の創造性や感性を育み、心豊かで活力のある社会を実現するため、文化芸術の楽しさ、面白さに触れる機会の充実に努めます。3回目となる「文化公園アートフェスティバル」は、多くの方が文化芸術を楽しめるイベントにします。小・中学生を対象に実施しているアウトリーチ事業は、対象を一般の方にも拡大します。また、静川遺跡の測量を実施するとともに、「文化財発見ツアー」を継続します。

青少年の健全育成

子どもたちが健やかに成長するために、家庭・学校・地域における取り組みを進めることが重要です。児童センターは、「新大成児童センター(仮称)」の設計業務を行います。放課後児童クラブは、拓進小学校開校に合わせた建設と沼ノ端小学校の校舎内開設を進めます。「洋上研修会」を実施し、豊かな人間性の育成を図ります。

社会教育施設の充実

地域に開かれ親しまれる事業の推進と施設運営の充実を図ります。苫小牧市美術館(仮称)の平成25年7月開館に向けた博物館の増改築工事を行います。また、科学センター「ミール展示館」に太陽光パネルを設置し、教育的に活用します。中央図書館では、多様な市民のニーズに応じた読書活動の推進に努めます。

スポーツの振興

スポーツを通して健やかで豊かな生活を営むことができる環境を整備します。そのため、健康ウォーキング事業を継続します。また、「アイスホッケーの殿堂」を白鳥アリーナに設置するため、基本計画の策定に取り組みます。



やまだ まさひさ
教育長 山田真久